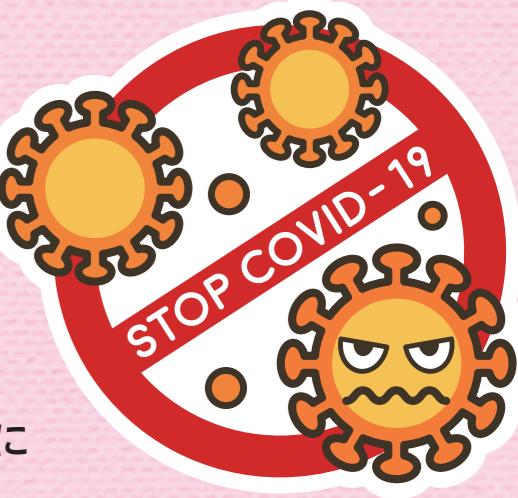




日本赤十字社
赤十字
フォトニュース

オール日赤で取り組む 新型コロナウイルス感染症への対応

今日、わたしたちにできることを、
それぞれの場所で。



2020年1月に国内で初めての感染者が確認された新型コロナウイルス。目に見えない小さなその存在は、医療・健康だけでなく経済、教育など様々な分野に想像を超える甚大な影響を及ぼし、私たちの生活を一変させました。未だ終息の見えないこの状況に対し、赤十字も様々な形で対応しています。



子どもたちに正しい知識をわかりやすく

愛知県支部では感染を防ぐ方法だけでなく、感染した人やリスクのある人への差別や偏見の問題についても考えることができる啓発教材をJRC加盟校へ配布しました。



社会が困難なときこそボランティアの力を

赤十字奉仕団は工夫して在宅できるボランティア活動に取り組みました。



安心安全な医療を提供し続ける

名古屋第一赤十字病院および名古屋第二赤十字病院では、徹底した感染防止対策を行い、安心安全な医療を提供しています。



献血協力者の安全を守り、輸血用血液を医療機関へ届ける

血液センターでは献血協力者の方々の安全を守るために、徹底した感染対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。



三遠ネオフェニックス
とのコラボ



#新型コロナウイルスの感染拡大が続いているけど自分自身や周りの大切な人をウイルスの感染から守るために正しい手洗いを実践することが大切なんだ。

名古屋グランパス×日本赤十字社
「自分は大丈夫」と治癒していない?
一人ひとりが感染予防のための普段の行動をとろう

正しく恐れるための情報を伝える

愛知県支部はパートナーシップ協定を結ぶスポーツチームと協力し、感染防止や差別・偏見の防止などに関する啓発活動に取り組みました。また選手からは病院職員への応援メッセージを寄せいただきました。



子どもたちの学びの機会を守る

愛知県支部ではオンライン学習のニーズが高まる中、環境整備を速やかに進めることが難しい状況にあった児童養護施設や外国人学校等を対象にタブレット端末およびネットワーク機器を寄贈しました。



専門知識で地域に貢献

日本赤十字豊田看護大学では、感染制御を専門とする教員が作成した感染防止ガイドをウェブサイトやSNSを通じて公開しました。



皆様のご協力をお願いいたします。

最新情報は 日赤 あいち で検索またはこちらを読取→



ウェブサイト

Twitter

Instagram

赤十字事業は皆さまからの活動資金のご協力によって支えられています。